



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月7日

上場会社名 丸一鋼管株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5463 URL <http://www.maruichikokan.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役会長兼CEO（氏名）鈴木 博之
 問合せ先責任者（役職名）執行役員経理部長（氏名）河村 康生 (TEL) 06-6531-1201
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	98,935	12.5	14,863	36.1	16,834	37.7	10,365	24.7
25年3月期第3四半期	87,955	△2.8	10,924	△6.5	12,227	△8.7	8,312	103.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 21,398百万円 (176.7%) 25年3月期第3四半期 7,732百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	122.33	122.23
25年3月期第3四半期	97.79	97.72

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	298,639	240,658	77.4
25年3月期	271,236	225,256	79.9

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 231,223百万円 25年3月期 216,601百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	41.50	61.50
26年3月期	—	25.00	—		
26年3月期(予想)				45.50	70.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	135,700	15.3	19,400	25.9	22,000	25.3	13,100	23.4	154.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	94,000,000株	25年3月期	94,000,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	9,264,941株	25年3月期	9,270,685株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	84,733,416株	25年3月期3Q	85,002,032株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和策等により、企業収益の改善や個人消費の持ち直しが見られるなど景気は緩やかな回復傾向が続いていますが、海外では米国経済は回復しつつあるものの、欧州経済の低迷、中国経済の減速や新興国の通貨下落等もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

(日本)

国内事業につきましては、販売数量面では前年同期比改善しているのに対して、製品価格については、高炉の値上げによる原材料コスト上昇を製品価格へ転嫁するために当期も価格の値上げを最重要課題として取り組んでいますが、未だ途上にあります。

この結果、国内事業は、売上高は706億7千1百万円（前年同期比7.2%増）、セグメント利益は142億6千5百万円（前年同期比29.5%増）となりました。

(北米)

北米事業につきましては、販売面では米国のマルイチ・レビット・パイプ・アンド・チューブLLC（Leavitt社）においてAPI製品の製造・販売の遅れによる計画未達成部分がありますが、従来製品の販売数量が増加したことにより、売上高は130億1千万円（前年同期比20.8%増）と増加し、利益面ではマルイチ・アメリカン・コーポレーション（MAC社）の寄与により、セグメント利益1億6千3百万円（前年同期比61.1%増）を計上しました。

(アジア)

アジア事業につきましては、ベトナムのマルイチ・サン・スチール・ジョイント・ストック・カンパニー（SUNSCO社）で新規設備の稼働などもあり販売数量が増加し、ハノイ子会社の事業を含め売上高は152億5千3百万円（前年同期比35.4%増）と増加しました。セグメント利益は4億4千1百万円を計上し、前年同期比6億2千5百万円改善（前年同期はセグメント損失1億8千3百万円計上）しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は989億3千5百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益は148億6千3百万円（前年同期比36.1%増）、経常利益は168億3千4百万円（前年同期比37.7%増）、四半期純利益は103億6千5百万円（前年同期比24.7%増）となりました。

尚、対米ドル換算レートは1米ドル96円71銭であります。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,986億3千9百万円（前連結会計年度比274億3百万円の増加）となりました。

主な内容は、流動資産については、受取手形及び売掛金が35億1千万円、有価証券が18億6百万円、原材料及び貯蔵品が16億1千6百万円増加した結果、流動資産合計で78億9千1百万円増加しました。固定資産については、投資有価証券が株式の時価の上昇による評価差額金などの増加により121億5千2百万円、有形固定資産が東京工場の東京第二工場集約に伴う設備投資やSUNSCO社の設備投資の増加などにより72億2千7百万円増加した結果、固定資産合計で195億1千1百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は579億8千万円（前連結会計年度比120億1百万円の増加）となりました。

主な内容は、流動負債については、支払手形及び買掛金が40億8千1百万円、流動負債のその他のうち設備関係支払手形が30億9千万円増加した結果、流動負債合計で74億2千9百万円増加しました。固定負債については、株価の上昇などにより繰延税金負債が39億6千1百万円増加した結果、固定負債合計で45億7千1百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,406億5千8百万円（前連結会計年度比154億2百万円の増加）となりました。

主な内容は、その他有価証券評価差額金が77億6千8百万円、利益剰余金が47億2千7百万円、為替換算調整勘定が21億1千3百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月8日に公表いたしました業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、本日開示しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

セグメント別の今後の見通しについては、以下のとおりです。

(日本)

国内事業につきましては、鉄鋼需要、特に建築・土木用鋼管は数量面では回復してきていますが、価格面では、原材料のコスト上昇をカバーするために引き続き製品の値上げの浸透をはかってまいります。生産面では今年3月に終了する予定の東京工場の東京第二工場への集約により生産の効率化に努め、また電力不足及び電気料金の値上げに対応するため取り組んでいる太陽光発電事業については、事業の拡大をはかってまいります。

(北米)

北米事業につきましては、米国のMAC社では販売数量の増大に努めてまいります。Leavitt社では、自動車用小径管およびAPIパイプ設備の増強が完了し、自動車およびエネルギー分野など、新規分野での事業の拡大に努め、特に収益面の改善に努めてまいります。また、今期から新たに操業を開始したメキシコのマルイチメックスS.A. de C.V. では、自動車向け鋼管を生産していますが、さらに市場の開拓に努め、年内の月次黒字化を目標にしてまいります。

(アジア)

アジア事業につきましては、ベトナムSUNSCO社では16インチパイプミル、第2CGL（連続溶融亜鉛めっきライン）及び第2CCL（カラー鋼板ライン）などの新規設備の本格稼働により、生産の増加と品質の向上に努めてまいります。また、販売面では国内外の市場開拓により売上げの増大をはかり、経営の安定化に努めてまいります。インドのマルイチ・クマ・スチール・チューブ・プライベート・リミテッド社では、同国内自動車マーケットは依然として停滞気味ですが、引き続き収益の確保に努めてまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	56,595	56,742
受取手形及び売掛金	29,334	32,845
有価証券	19,008	20,814
製品	8,049	9,225
原材料及び貯蔵品	13,371	14,987
その他	3,742	3,374
貸倒引当金	△247	△243
流動資産合計	129,854	137,745
固定資産		
有形固定資産		
土地	30,367	30,458
その他	45,011	52,148
有形固定資産合計	75,378	82,606
無形固定資産		
のれん	79	335
その他	1,409	1,344
無形固定資産合計	1,488	1,680
投資その他の資産		
投資有価証券	61,175	73,328
その他	3,354	3,278
貸倒引当金	△16	—
投資その他の資産合計	64,514	76,606
固定資産合計	141,381	160,893
資産合計	271,236	298,639

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,745	17,827
短期借入金	5,772	7,102
未払法人税等	2,298	2,898
賞与引当金	831	513
役員賞与引当金	74	51
その他	7,540	9,300
流動負債合計	30,264	37,693
固定負債		
長期借入金	10,194	10,941
退職給付引当金	3,087	3,257
役員退職慰労引当金	47	51
繰延税金負債	1,857	5,818
その他	528	217
固定負債合計	15,715	20,286
負債合計	45,979	57,980
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,595	9,595
資本剰余金	15,821	15,821
利益剰余金	211,892	216,620
自己株式	△20,504	△20,491
株主資本合計	216,805	221,545
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,375	13,144
為替換算調整勘定	△5,579	△3,466
その他の包括利益累計額合計	△204	9,677
新株予約権	102	112
少数株主持分	8,553	9,323
純資産合計	225,256	240,658
負債純資産合計	271,236	298,639

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	87,955	98,935
売上原価	68,988	75,298
売上総利益	18,967	23,636
販売費及び一般管理費	8,043	8,772
営業利益	10,924	14,863
営業外収益		
受取利息	118	181
受取配当金	791	778
持分法による投資利益	353	380
為替差益	—	543
その他	498	543
営業外収益合計	1,761	2,426
営業外費用		
支払利息	105	136
為替差損	40	—
不動産賃貸費用	191	198
その他	120	120
営業外費用合計	458	455
経常利益	12,227	16,834
特別利益		
固定資産売却益	3	96
投資有価証券売却益	331	1
収用補償金	818	—
特別利益合計	1,153	98
特別損失		
固定資産除却損	48	213
投資有価証券売却損	179	9
投資有価証券評価損	14	—
その他	4	12
特別損失合計	247	234
税金等調整前四半期純利益	13,133	16,698
法人税等	4,837	5,982
少数株主損益調整前四半期純利益	8,295	10,715
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△16	349
四半期純利益	8,312	10,365

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,295	10,715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△367	8,011
為替換算調整勘定	△18	2,441
持分法適用会社に対する持分相当額	△177	229
その他の包括利益合計	△563	10,683
四半期包括利益	7,732	21,398
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,753	20,247
少数株主に係る四半期包括利益	△21	1,151

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	65,924	10,768	11,262	87,955	—	87,955
セグメント間の 内部売上高又は振替高	226	—	—	226	△226	—
計	66,150	10,768	11,262	88,182	△226	87,955
セグメント利益又は損失(△)	11,016	101	△183	10,934	△10	10,924

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△10百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間において、マルイチ・クマ・スチール・チューブ・プライベート・リミテッドを連結の範囲に含めたため、アジア事業における資産の金額が著しく増加しております。この結果、当該増加額を含めた、第3四半期連結会計期間末のアジア事業の資産残高は、18,127百万円(前連結会計年度末14,271百万円)であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	70,671	13,010	15,253	98,935	—	98,935
セグメント間の 内部売上高又は振替高	428	—	—	428	△428	—
計	71,100	13,010	15,253	99,363	△428	98,935
セグメント利益	14,265	163	441	14,870	△7	14,863

(注) 1. セグメント利益の調整額△7百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。